

株式会社 藤本製作所

エコアクション21

環境経営レポート

2023年度版

対象期間：2023年7月1日～2024年6月30日



発行日：2024年9月15日

発行責任者：小川 伸之

目次

	ページ
表紙	1
目次	2
1. 取組対象組織・活動	3
(1)事業所名及び代表者名	
(2)所在地	
(3)環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4)事業活動の内容	
(5)事業の規模	
(6)事業組織	
(7)過去3年間の環境負荷の実績	
EA21実施体制組織図	4
2. 環境経営方針	5
3. 環境経営目標とその実績	6～7
4. 環境経営計画	8
5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	9～11
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果	
並びに違反、訴訟等の有無	11
7. 代表者による全体評価と見直し・指示	12

1 取組対象組織・活動

事業者名及び代表者名

株式会社 藤本製作所
代表取締役社長 中本 賢一

所在地

〒524-0003 滋賀県守山市中町45番地

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者：小川 伸之
連絡先：077-582-2184

事業活動の内容（認証・登録範囲）

プラスチック建材商品（雨樋部品）の製造加工、サンプル製作

事業の規模

売上高 147 百万円／2023年
主要製品生産量 119 トン／2023年
全従業員 19 名（2023年7月現在）
当社の事業年度は7月から翌年6月です。

事業組織

面積：㎡	本社
事務所床面積	58
工場床面積	1,692
倉庫床面積	268
駐車場面積	328
従業員 名	19
認証・登録	○

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO ₂	26,275	27,156	25,151
二酸化炭素の排出量/百万円原単位	Kg-CO ₂ /百万円	161.0	166.6	171.1
二酸化炭素の排出量/生産高（t）	Kg-CO ₂ /生産高（t）	151.0	183.5	211.4
廃棄物の排出量	t	2.8	5.3	3.5
水の使用量、排水量	m ³	93	95	109

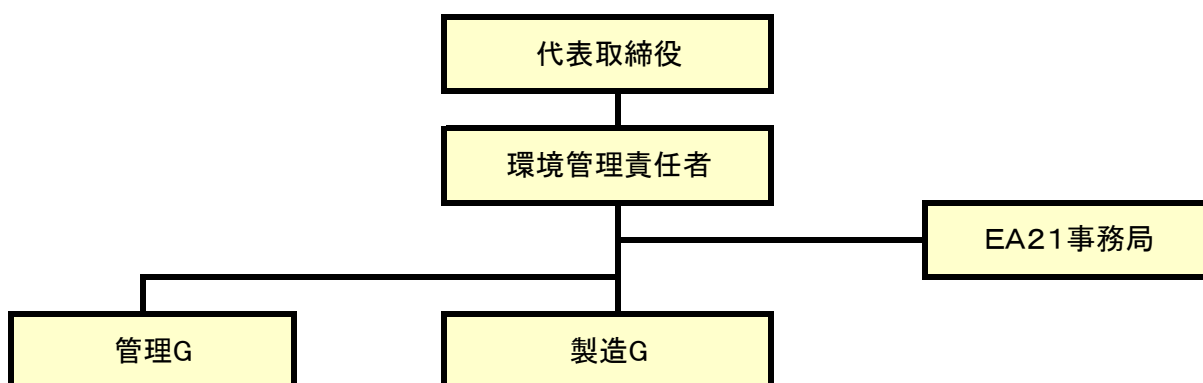
*環境活動取組期間は7月から翌年6月です。

*購入電力は、新電力のリコージャパン2019年の調整後排出係数
0.428Kg-CO₂を2021年から2023年の3ケ年間固定します。

*化学物質の取り扱い扱いは、微量（7.4Kg）の為目標に掲げず、適正に管理します。

作成日： 2023年7月1日
 作成者： 小川 伸之

EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担当	内容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ③環境管理責任者を任命する。 ④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。 ⑥環境経営レポートを承認・許可する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。 ③法規制等の遵守状況をチェックする。 ④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。 ⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。 ⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 ⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

株式会社 藤本製作所

環境経営方針

<環境理念>

当社は、住宅関連部材を製造する事業を通じて、「地球環境に優しいものづくり活動」を推進し、社会に貢献する。

<活動方針>

当社は、上記理念のもと、エコアクション21環境経営システムの運営を通じて、環境への影響に配慮し、「全員でムダの少ないものづくり」を継続推進します。

- (1) 環境関連法規制及び顧客からの環境への要求事項を遵守します。
- (2) 環境経営目標を定め、定期的に見直し、継続的改善と汚染の予防に努めます。
 - ・二酸化炭素排出量削減の為、「省エネ」を推進します。
 - ・廃棄物排出量削減の為、「3R」を推進します。
 - ・水使用量削減のため「節水」を推進します。
 - ・化学物質の使用に関わるリスクを低減する為、「化学物質使用量の把握・管理」を適切に推進します。
- (4) 環境に有益な取組を推進します。
 - ・自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善」に努めます。
 - ・地域環境改善に貢献します。

この環境経営方針は経営者が定め継続的改善を誓約します。

又、日常活動等を通じて全従業員へ周知します。

制定日：2018年12月1日

改定日：2020年10月15日

代表取締役社長 中本 賢一

3 環境経営目標とその実績

2019年度、2020年度までの実績を自己チェック等により把握し、その平均を基準値として、2021年度から2023年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年7月1日から2024年6月30日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2019年、 2020年 平均値		取組年 2023年7月～2024年6月		次年度	中長期
			(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	2024年	2025年
							(目標)	(目標)
・二酸化炭素排出量削減の為、「省エネ」を推進します。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年 比達成率	100%	97%	108.7%	97%	97%	
		使用量	51,095	49,562	55,547	49,562	49,562	
		(kg-CO ₂)	21,868	21,212	23,774	21,212	21,212	
	軽油使用量の削減 (単位:L)	目標・基準年 比達成率	100%	100%	115.5%	100%	100%	
		使用量	462	462	534	462	462	
		(kg-CO ₂)	1,192	1,192	1,377	1,192	1,192	
	二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年 比達成率	100%	97%	109.1%	97%	97%	
		(kg-CO ₂)	23,061	22,405	25,151	22,405	22,405	
	二酸化炭素排出量/百万円 原単位	目標・基準年 比達成率	100%	97%	119.9%	97%	97%	
		(kg-CO ₂)/百万 円	142.7	138.4	171.1	138.4	138.4	
	・廃棄物排出量削減の 為、「3R」を推進し ます。	分別による廃 棄物の削減 (単位:kg)	目標・基準年 比達成率	100%	97%	96.9%	97%	97%
			(kg/年)	3,570	3,463	3,460	3,463	3,463
・水使用量削減のため 「節水」を推進しま す。	事業所利用水 の維持(単位: m ³)	目標・基準年 比達成率	100%	100%	96.5%	100%	100%	
		(m ³ /年)	113	113	109.0	113	113	
・化学物質の使用に関わるリス クを低減する為、「化学物質使 用量の把握・管理」を適切に推 進します。	化学物質の適 正管理 (単位:年)	目標・取組年 比達成率	—	—	100%	—	—	
		(月)	12	12	12	12	12	
・自らが生産・販売・提供 する製品の環境性能の向上 及びサービスの改善」に努 めます。	協力会社情報交 流会への参加 (単位:2回/ 年)	目標・取組年 比達成率	—	—	50%	—	—	
		(回/年)	2	2	1	2	2	
・地域環境改善に貢献 します。	地域の美化活動 に参加する。 (単位:2回)	目標・取組年 比達成率	—	—	100%	—	—	
		(回/年)	2	2	1	2	2	

目標の説明や補足事項

- 購入電力は、新電力のリコージャパン2019年の調整後排出係数0.428Kg-CO₂を2021年から2023年の3ヶ年間固定します。
- 廃棄物排出量は、事業活動からの廃棄物に対しての総排出量で管理します。
- 水使用量については、事業所における水使用量の維持について実施します。
- 化学物質の取扱いは、適正に1回/月管理します。
- 協力会社情報交流会へ2回/年参加します。
- 地域の社会貢献活動を実施します。
- 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上ために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組めます。
- 2024年、2025年の目標は、仮目標です。

3-2 環境経営目標とその実績 (生産高 (t) 比)

*目標：電力・産廃19.20年平均×97%
他19.20年平均100%

重点管理項目	年度	2019年度	2020年度	取組年		2023年度	評価	
		実績	実績	目標	実績	達成率(%)		
				97%/100%				
二酸化炭素排出量 目標97% 目標値：19.20年平均に対し	kg-CO2/ t	181.19	172.54	171.56	211.36	81.2%	□	
	電力 目標97%	kWh/ t	337.18	320.02	318.74	466.78	68.3%	△
	軽油 目標100%	L/ t	2.94	3.01	2.98	4.49	66.3%	△
廃棄物等総排出量	kg/ t	20.44	25.3	22.18	31.06	71.4%	△	
	産業廃棄物 目標97%	kg/ t	18.97	23.57	20.63	29.08	71.0%	△
	一般廃棄物 目標100%	kg/ t	1.47	1.73	1.60	1.98	80.7%	□
水使用量 目標100%	m ³ / t	0.74	0.72	0.73	0.92	79.7%	□	
化学物質使用量	kg/ t	使用量管理 月次	使用量管理 月次把握	使用量管理 月次	使用量管理 月次	使用量管理 月次	◎	
自らが生産・販売・提供するサービスに関する項目		情報交流会 2回/Y	情報交流会 2回/Y	情報交流会 2回/Y	情報交流会 1回/Y	情報交流会 1回/Y	△	

評価は達成率で表し、◎=100%以上、○=99%~90%、□=89%~80%、△=79%~60%、×=59%以下

<生産高 (t) 比の取組結果>

- (1) メーカー仕様変更により社内生産へ変更。期初の目標に対し生産量減が大きく影響次年度目標値を見直す。
- (2) 廃棄物等総排出量は、メーカー廃番により排出の増減が大きく影響しコントロールが困難
- (3) 「化学物質使用量把握」への取組みは毎月の在庫数を精度よく管理できたものの生産量により大きく影響する為、現状の管理体制を今後も強化していく。
- (4) 「自らが生産・販売・提供するサービスに関する項目」への取組については、今年度は新たにメーカー主催の省エネに関する講習会へ参加できた。

<次年度への課題>

- (1) 生産量減により、原単位での数値が悪化。次年度については目標の見直しはするものの今後継続課題として重要
- (2) 電力使用量の管理については、生産設備稼働による増減でなく、大きくは各職場でのエアコン等作業環境に関するものであり数値が悪化しても近年の夏場猛暑により改善策が難しく、さらにこまめな節電を各人に徹底する。
- (3) エコアクション21の活動をさらに「見える化」し社員への協力体制強化を図る。

4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
・二酸化炭素排出量削減の為、「省エネ」を推進します。	電力使用量の削減 (kWh)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の見える化推進 ・エアコン起動時間調整, 温度管理等 ・作業及び環境改善提案推進 ・工程間仕切り活用 	管理G
	軽油使用量の削減 (単位:L)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ運転の継続実施 ・急発進、急加速の禁止 ・早めのアクセルオフ ・タイヤ空気圧の定期点検実施 	製造G
・廃棄物排出量削減の為、「3R」を推進します。	分別による廃棄物の削減 (単位: kg)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物分別処理の徹底 ・工程別産廃排出量の確実な把握 ・産廃コンテナの管理ルール見直し 	製造G
・水使用量削減のため「節水」を推進します。	事業所利用水の維持(単位: m ³)	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の徹底 ・雨水の活用継続 (雨水貯留タンク) 	管理G
・化学物質の使用に関わるリスクを低減する為、「化学物質使用量の把握・管理」を適切に推進します。	化学物質の適正管理 (単位: 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象化学物質使用量データ確認と使用量把握 (月次) 	製造G
・自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善」に努めます。	協力的社情報交流会への参加 (単位: 2回/年)	<ul style="list-style-type: none"> ・協力的社情報交流会への参加 	製造G
・地域環境改善に貢献します。	地域の美化活動に参加する。(単位: 2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への取り組みに自己チェックに基づき実施可能で追跡可能な活動を検討 	管理G

取組の紹介

- 1 地域の清掃活動は、地元地域の清掃活動をボランティアで行う活動です。
- 2 守山市主催の地域環境美化活動である「ごみゼロ大作戦」に積極的に参加する。

5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価：○達成 △基準年105%以内達成 ×未達成

環境経営方針	取組項目	年度	取組年 2023年 2023年7月～2024年6月		評価	取組の評価
			(目標)	(実績)		
・二酸化炭素排出量削減の為、「省エネ」を推進します。	電力使用量の削減 (kWh)	目標・基準年比達成率	97%	108.7%	×	不要時の消灯、エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃）に努めたが、厳冬のため、エアコンの使用が増えた。次年度計画段階で環境経営目標を見直す。 省エネ運転に心掛けた。次年度は計画段階で環境経営目標を見直す。
		使用量	49,562	55,547		
		(kg-CO ₂)	21,212	23,774		
	軽油使用量の削減 (単位:L)	目標・基準年比達成率	100%	115.5%	×	
		使用量	462	534		
		(kg-CO ₂)	1,192	1,377		
	二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年比達成率	97%	109.1%	×	
		(kg-CO ₂)	22,405	25,151		
二酸化炭素排出量/百万円原単位	目標・基準年比達成率	97%	119.9%	×		
	(kg-CO ₂)/百万円	138.4	171.1			
・廃棄物排出量削減の為、「3R」を推進します。	分別による廃棄物の削減 (単位:kg)	目標・基準年比達成率	97%	96.9%	○	
		(kg/年)	3,463	3,460		
・水使用量削減のため「節水」を推進します。	事業所利用水の維持(単位:m ³)	(m ³ /年)	100%	96.5%	○	
		目標・取組年比達成率	113.0	109.0		
・化学物質の使用に関わるリスクを低減する為、「化学物質使用量の把握・管理」を適切に推進します。	化学物質の適正管理 (単位:年)	(月)	-	100%	○	
		目標・取組年比達成率	12	12		
・自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善」に努めます。	協力会社情報交流会への参加 (単位:2回/年)	(回/年)	-	50%	△	
		目標・取組年比達成率	2	1		
・地域環境改善に貢献します。	地域の美化活動に参加する。(単位:2回)	目標・取組年比達成率	-	100%	○	
		(回/年)	2	1		

今年度の主な取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、節電やアイドルリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施した
- 2 廃棄物は各人への分別徹底により削減に努めた。定期的に状況確認
- 3 水使用量の削減では車輛の洗車時の使用量維持に努めた
- 4 化学物質は、適正に管理した
- 5 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善に努めた
- 6 環境美化活動は、工場周辺の美化に努めた。

次年度の取組内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、節電やアイドルリングストップやエコドライブ等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は各人への分別廃却協力を継続して行い削減に努める
- 3 水使用量の削減では車輛の洗車時の使用量維持に努める
- 4 化学物質は、適正に管理する
- 5 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善に努める
- 6 環境美化活動は計画通り地域の美化活動に参加する
- 7 環境経営目標の達成取組みと共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動（整理、整頓、清掃）に取組み、意識を持って全員で実践していきたい。

5-1 環境経営計画の取組結果

環境経営方針	取組項目	取組内容	
二酸化炭素排出量削減「省エネ」推進	電力量削減 (KWh)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量の見える化推進 ・エアコン始動時間調整温度管理等 	電気使用量「見える化」 
	軽油使用量削減 (単位: L)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ運転の継続実施 ・急発進急加速の禁止 ・早めのアゲルーフ ・日常定期実施 	
廃棄物排出量削減「3R」推進	分別による廃棄物削減 (単位: kg)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物分別処理徹底 ・工程別産廃排出量の確実な把握 ・産廃コンテナの管理ルール見直し 	 廃棄物写真を掲示し分別
水使用量削減「節水」推進	事業所利用水の維持 (単位: m ³)	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の徹底 ・雨水活用継続 (雨水貯留タンク) 	 雨水をタンクの活用、玄関打ち水や植栽散水
・化学物質の使用に関わるリスク低減「化学物質使用量の把握・管理」	化学物質の適正管理 (単位: 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象化学物質使用量データ確認と使用量把握 (月次) 	
・「自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善」	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会社情報交流会への参加 ・参加 (単位: 2回/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会社情報交流会への参加 ・主催者による省エネ講習受講及び他社との情報交流 	
・地域環境改善に貢献	地域の美化活動に参加 (単位: 回)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の清掃活動に参加する 	  <ul style="list-style-type: none"> ・工場及び周辺の除草

5-2 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組項目		取組結果（実施項目）	次年度の取組
温室効果ガス排出量削減	電力使用量削減	・夏場・冬場節電重点対策実施 エアコン温度管理と起動時間調整 扇風機の積極活用 電気使用量の「見える化」推進 ・作業空調服の推進 ・工場内改善提案活動拡大（オールシーズンへ展開）	・同左対策の継続実施 ・継続推進
	軽油使用量削減 (社用車)	・省燃費運転の継続実施（エコドライブ実践）	・同左（継続実施）
	LPG使用量削減	・節ガス対策の推進	・同左（継続実施）
廃棄物等総排出量	産業廃棄物削減（廃プラ、廃油）	・有価物、廃棄物の分別処理の徹底 ・工程別産廃排出量の確実なる把握 ・産業廃棄物区分の明確化・徹底	・同左（継続実施） 産廃排出量削減対策
	一般廃棄物削減	・「紙類の分別処理ルール」設定と確実な実施 ・一般廃棄物処理基準作成	・同左継続、対応検討
総排水量	生活用水使用量削減	・表示等による節水啓蒙活動 ・雨水の活用（雨水貯留タンク水の利用） ・雨水使用量の定期チェック ・洗面所の節水	・同左継続
化学物質	化学物質使用量把握	・化学物質データ確認と使用量把握（月次把握実施）	・同左継続定着化
自らが生産・販売・提供するサービスに関する項目		・環境配慮活動のため、協力会社情報交流会コロナ禍により中止	・同左継続
地域の環境美化活動に参加		・コロナ禍で十分に参加出来なかった	・同左継続
共通	環境改善提案	・環境改善提案実施：提案件数28件	・同左継続
	環境保全活動	・工場周辺清掃実施	

6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反、訴訟等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
化管法（P R T R法）	特定指定有害物質の取扱・管理・報告	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検、引渡し、記録の保存	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守
守山市の生活環境を保全する条例	守山市の生活環境の保全	遵守
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

1. 環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画の達成状況

- ①環境経営目標の重点指標の中で、「二酸化炭素排出量削減」は計画に対し109.1%。今年度実績を踏まえ次年度は、環境経営目標を変更する。
- ②メーカー商品仕様変更で受注量が約2割減となり、目標値を達成できていない目標値を見直す
- ③「化学物質使用量の把握」及び「製品及びサービスに関する項目」への取組みも計画通り実施できた。
- ④「製品及びサービスに関する項目」への取組みは、情報交換会が開催されなかった。次年度は、情報交換会が開催されれば参加して取組む。
- ⑤環境経営目標の設定年度が終わりましたので、新たな環境目標を設定し環境経営計画を策定して取り組む

2. 環境経営システムの実施状況

- ①エコアクション21 ガイドライン（2017年版）に基づき実施・運営した。
- ②システム上は特に問題もなく運営できている為、今後も継続する。
- ③エコアクション21 ガイドライン（2017年版）の環境経営システムの定着について、更新及び中間審査を通じて更なる定着レベルアップを図る。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり